

東京民医連

東日本大震災 ニュース

2011年3月17日

No.20

発行：東京民医連事務局

電話：03-5978-2741

FAX：03-5978-2865

メール：

sien@tokyominiren.gr.jp

東京都知事の暴言に抗議声明を出しました。

声明 石原都知事の「大震災は天罰」の暴言に断固抗議する。

—石原都知事は全被災者及び関係者、都民に正式に謝罪をせよ。—

3月14日、石原都知事は新聞・マスコミ関係者の前で、東北地方太平洋大震災について、「日本人の我欲をうまく洗いながす必要がある。これはやっぱり天罰だと思う。」と発言をしました。未曾有の被害と犠牲者をだし、未だ懸命な救助活動、支援活動が続いている中で、まったくの暴言といわざるを得ません。あらためて、都知事としての見識と同時に一個人としての人格を疑わざるを得ません。暴言やり放題の知事だからと言って、私たちはこの発言を絶対に黙認することはできません。断固抗議します。

今まさに東京都知事に求められるのは、被災地を支援する熱い思いの発信とその救援活動の先頭に立つことです。さらに、東京都下でも大震災に関連して被害が発生しています。ガソリンや生活用品の供給不足、福島原発事故や「計画停電」実施に対する都民の懸念や不安が広がりつつあり、東京都の対応が非常に重要な時期です。

このような状況の中での今回の発言は、東京都のトップ責任者としての資質や素養が完全に欠落していると言わざるを得ません。

私たちは、石原都知事の暴言の撤回を強く要求します。すでに、知事自身は記者会見席上で撤回したとしているが、正式に大震災の全被災者及び関係者、都民に対して誠意をもって謝罪することを要求します。

以上

2011年 3月16日 東京民主医療機関連合会 会長 石川 徹

「計画停電」の対応に振り回される事業所 健康文化会

この間東京電力の「計画停電」への対応に苦労しています。

小豆沢病院の電子カルテや各診療所コンピューターは停電後の立ちあがり非常に遅く、その対応に職員が四苦八苦しています。また電車の制限運転などに伴い職員の通勤にも支障がでているため、今日から通勤困難の職員のために小豆沢病院近くの宿泊所を確保しました。

(健康文化会 南雲専務)

東京民医連の現地支援隊第3陣が出発!

東京民医連支援隊第3陣(東京民医連北村副事務局長、杉浦事務局次長)が10:30に大塚事務所を出発しました。協立医師協からマスクや医療用グローブなどの医材、ほくと医療生協から毛布や紙おむつなどの日用品などの届けられた支援物資を積み込み出発しました。第2陣の譜久村氏・滝澤氏に入れ替わり20日まで坂総合病院へ向かい支援活動を行う予定です。

東京民医連のホームページにニュースと義捐金募集のページをUPしました。

<http://www.tokyominiren.gr.jp/>

★事業所の被害状況などお寄せください。
sien@tokyominiren.gr.jp



支援に向かう北村副事務局長